

2009年度

科目名	心理学		
担当教員	中尾 将大		
配当	薬学1	コード	43050
開期	前期	講時	木曜日3限
		単位数	2
授業テーマ	心理学と他領域との関わりを通じて学際的学問としての心理学の可能性を学ぶ		
目的と概要	我々ヒトを含む生活体はあらゆる刺激が混在する環境下に置かれている。あるものはその中でうまく適応し、あるものは不適応をおこす。本講義では「行動の原理」を生み出した学習心理学を中心にすえ、「環境への適応・不適応」行動の研究を主軸として他分野との関連研究を紹介する。心理学の持つ、学際性と可能性を知って欲しい。		
成績評価法	平常点(20%)および期末テスト(80%)による総合評価。テストに代えてレポートを課する場合もある。		
テキスト	内容に合わせてプリントを配布		
参考書	「学習の心理学」今田 寛著 培風館 その他、随時紹介していく予定		
履修に当たっての注意・助言	本講義では学生の自主性を重んじています。「来る者拒まず、去る者追わず」を基本ルールとしていますので自由な雰囲気ではあります。しかし、何を学ぶかは学生諸君ひとりひとりの「取り組み方」に依るところが大きいです。うまく自分自身を「コントロール」して多くのことを学んでください。		
講義計画			
第1回オリエンテーション	—授業の説明—		
第2回学習心理学の概要	—学習心理学の歴史と理論的背景—		
第3回行動主義心理学とは	—心理学は行動の科学である—		
第4回行動の理論(1)	—古典的条件づけ—		
第5回行動の理論(2)	—オペラント条件づけ—		
第6回環境への適応(1)	—環境刺激の持つ影響力—		
第7回環境への適応(2)	—信号の持つ信憑性—		
第8回環境への不適応(1)	—学習性絶望「もう何をしてもアカンわ・・・。」—		
第9回環境への不適応(2)	—過労のモデル研究 オーバーコントロール—		
第10回環境への不適応(3)	—拘束ストレス 内にため込むストレス—		
第11回学習心理学から行動科学へ	—時代は行動科学(Behavior Science)—		
第12回医科学分野との関連	—心理学との関連分野の紹介—		
第13回ヒトの適応と不適応(1)	—行動療法—		
第14回ヒトの適応と不適応(2)	—生活習慣病—		
第15回まとめ			